

## 他校の生徒を含め、互いの交流を深めることができました 6組 清里移動教室 6月21日(水)～23日(金)

6月21日から6組の清里移動教室が実施されました。この移動教室は、区内4校の特別支援学級が合同で実施しています。昨年度からは、プログラムも共通で行うことで他校の生徒とより交流できる行事となりました。



初日21日(水)、最初のプログラムは高根クラインガルデンでほうとう作りを体験しました。班ごとに、生地を打った後、それみんな交代しながら麺棒を使って伸ばしていきました。地元の方がやるのを見ると簡単そうですが、実際にやってみると上手く力が入らず、生地を広げるのに苦労しました。それを麺状に切り、地元の方に茹でていただきました。そうしてできたほうとうは、太さや長さはまちまちでしたが、自分たちでつくったと思うと、それだけでなんだかおいしく感じました。

その日の夜は、翌日が雨の予報だったため、予定を変更し、翌日予定していたキャンプファイヤーを実施することになりました。火の神から各校が炎を受け取る儀式からスタート、八幡中は陳さんと齋藤さんが代表して「元気の火」と「友情の火」を松明で受け取りました。それらの火でキャンプファイヤーに点火、「燃えろよ燃えろ」をみんなで歌いました。日頃東京では見ることもないような、天までとどくような大きな炎を見て、みんな感動していたようです。



その後、「猛獣狩りゲーム」では、同じグループになった4校の生徒はお互いに自己紹介をして交流を深めました。最後は、ファイヤーを中心にして全員で「マイムマイム」を踊り、とても盛り上がりました。

二日目22日(木)は、予報どおりの雨、それも朝からかなりの量で、気温も玄関の寒暖計で14℃と、東京から比べるとずいぶん低く、外は半袖では寒いくらいでした。そこで、「雨の日プラン」として、午前には体育館で学校対抗ボッチャ大会、学校班8チームが2リーグに分かれて競いました。馴染みの薄い競技でしたが、始まるとすぐに慣れて白熱した試合を展開、みんな十分に楽しむことができました。結果はなんと、両リーグとも八幡中が優勝することができました。



昼食は、車山スカイプラザに移動して食べました。現地はゲレンデやロープウェイが全く見えないほど霧が出ていました。しかし、レストランは、さすがスキー場だけあって広々していて開放的で、ゆったりとお昼を食べることができました。その日の夜は、体育館を使って学校ごとのレクリエーションタイム、八幡中はビーチボールを使ったドッチボール大会などを行いました。「だるまさんがころんだ」大会では、勢い余って止まれない人が続出するなど、どの競技もみんな全力で楽しんでいました。30分ほどのレクでしたが、八幡中としての交流を深められ、いい時間を過ごすことができました。

最終日23日(金)は、退園式の後、移動教室最後のプログラム、川俣川での「溪流釣り」を行いました。前日の雨の影響が心配されましたが、使用できる釣り場をうまく割り振って実施、全員なんとか自分の分のマス釣りあげることができました。それをその場でさばき、炭火で焼いていただきました。野外で食べる焼きたての味は格別でした。



今回の移動教室は、6組内はもちろん。他の学校の生徒とも交流を深めることができ、多くを得た行事となりました。